



PRESS RELEASE

大学記者クラブ加盟各社 御中

平成21年7月23日
岡山大学

環境重視・人間重視の”エコイノベーション”の推進 我が国の産業競争力強化と革新的な温暖化対策技術の構築へ 「NEDO 技術開発機構 エコイノベーション推進事業 採択」

概要：低炭素社会づくりを推進する本学の提案した「化学触媒によるアクリルアミド次世代低炭素型製造法の可能性調査」が、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO 技術開発機構)のエコイノベーション推進事業に採択されました。本学で独自に開発した革新的製造法の実用化へ向け、その経済性・市場環境および現行製造プロセスの調査研究を進めます。

本調査研究(予算規模:約 1000 万円, 22 年 2 月まで)は、技術的データ収集と並行し、環境重視・人間重視の技術革新に寄与するためのライフサイクルアセスメント(CO₂ フットプリントなど)に関する解析を進める文理融合型の計画です。本事業は岡山県内の法人として初の採択であり、本学が中期目標に掲げる「人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築」に適合します。

1 エコイノベーションとは？

エコイノベーションとは我が国が先導する新しいイノベーションです。技術と社会との関わりを強化し、環境重視・人間重視の技術革新・社会革新をもたらします。20 世紀の「機能中心、供給者中心、大量消費」から、21 世紀は「人間重視」の持続的な発展を実現する時代です。

2 アクリルアミドとは？

アクリルアミドの世界生産量は約 60 万トンであり、凝集剤として水処理用、製紙工業などで多く使用されています。最近では油井に注入して採油用を増加させる EOR (石油増進回収技術)用の薬剤として使用量が増加し、将来、原油採掘が困難となったとき、アクリルアミドの需要の増大が予測されます。アクリルアミドは環境・エネルギー問題の解決に資する重要化学品です。

3 アクリルアミドの製造技術と本事業の狙い

アクリルアミドの製造技術は、歴史的に我が国が世界をリードしてきた国際競争力のある技術です。本学の大学院自然科学研究科講師の押木俊之らが開発した化学触媒法は、原理的に工業廃水を出さない既存法にない画期的な特長があり、アクリルアミド製造への実用化研究が産業界から大きく期待されています。本格的な実用化研究の前に、経済性評価等の調査研究を実施し、研究開発目標を設定することが本事業の狙いです。

4 オープンイノベーション戦略と本学の調査研究体制

従来、シーズの実用化研究は特定企業で進められてきましたが、近年はオープンイノベーションへ向けての取り組みが活発化しています。本学は独自のオープンイノベーション戦略である「マグマ特許戦略」を立案し、大学の優れたシーズを広く社会還元する取り組みを始めました。

本事業の推進においてもこのマグマ特許戦略に基づき、津島地区の大学院自然科学研究科と研究推進産学官連携機構、さらに芳賀地区の産学官融合センター(低炭素技術調査研究室)が連携し調査研究を進めます。

5 参考情報

NEDO 技術開発機構 6 月 23 日 プレスリリース「革新的な技術シーズを発掘するために」

<お問い合わせ>

岡山大学
大学院自然科学研究科・押木俊之
TEL/FAX:086-286-8035